社会・歴史 | 江戸時代末期

日米修好通商条約

模範解答

① 日米修好通商条約

② アメリカに領事裁判権を認めたこと。日本に関税自主権がなかったこと。

③ 井伊直弼（いい なおすけ）

補足

③の井伊直弼は、当時の大老として勅許を得ずに締結を進めた人物です。実際に日米修好通商条約に調印した日本側の全権委員は、井上清直と岩瀬忠震です。

出典：外務省「日米修好通商条約（重要文化財）」

https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/shiryo/akebono/09.html